



新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、新機能および変更された機能の要約と参照先を示します。

表 1: Catalyst Center リリース 2.3.4 の新機能および機能変更

機能	説明
制限付きシェル	<p>セキュリティを強化するため、Catalyst Center のこのリリースからルートシェルへのアクセスは無効になっています。Shell コマンドへのアクセスが制限されることで、ユーザーは基礎となるオペレーティングシステムとファイルシステムにアクセスできなくなるため、運用上のリスクが軽減されます。</p> <p>セキュリティ上の理由から、Shell コマンドへのアクセスが制限されています。ただし、root shell に一時的にアクセスしたい場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。</p> <p>制限付きシェルについてを参照してください。</p>
MS Teams 統合の構成	<p>Microsoft Teams との統合を構成できるようになりました。統合を有効にすると、Catalyst Center では、アプリケーション 360 ダッシュボードとクライアント 360 ダッシュボードに通話品質メトリック情報が提供されます。</p> <p>AppX MS-Teams 統合の構成を参照してください。</p>
デバイス証明書	<p>[Device Certificate] ウィンドウに [Device Name] 列が含まれるようになり、証明書をデバイス名でフィルタリングできるようになりました。</p> <p>デバイス証明書の管理を参照してください。</p>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。